

寄稿

経営デザインシートの活用を

I N P I T 鳥取県知財総合支援窓口支援担当 澤田宏二氏

境港商工会議所はI N P I T 鳥取県知財総合支援窓口の協力を得て、毎月第2水曜日に知財無料相談会を開催し、知的財産に関する様々な相談に応じています。このたび、同相談会の支援担当者・澤田宏二さんに、経営デザインシートについて寄稿していただきました。

「自社の強みを、これからの事業にどうつなげればよいのか分からない」。そんな中小企業の皆様の悩みに応えるのがI N P I T 鳥取県知財総合支援窓口です。

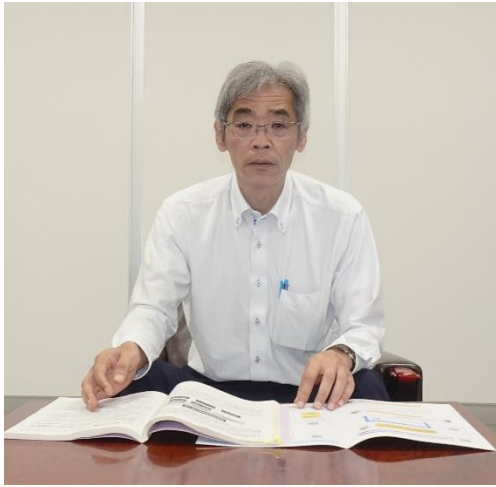
当支援窓口は、企業の「現在」と「これから」を整理するために、経営デザインシートを活用した支援を行っています。経営デザインシートとは、現在の事業や強みを整理するとともに、将来どのような価値を生み出したいのか、その実現に向けて何が必要なのかを可視化するツールです。

例えば、自社の商品やサービスの魅力を改めて整理することで、新たなブランドづくりにつながる場合があります。また、新しい技術や独自の製造方法などが重要な強みであれば、それを特許で守ることも選択肢になります。

さらに、商品名やロゴを商標で保護したり、特徴的なデザインを意匠として権利化したりするなど、経営戦略に応じて、様々な知的財産の活用方法が検討できます。

大切なのは「特許を取る」「商標を登録する」といった知財の手続きから始めるのではなく、まず自社が目指す将来像を描き、その実現に知財をどう活かすかを考えることです。

当支援窓口は、境港商工会議所を始めとした各支援機関とも連携し、経営デザインシートの活用からブランディング、特許・商標などの知的財産活用まで、それぞれの課題に応じた専門家も活用しながら、小規模事業者や中小企業の皆さんの経営課題に寄り添った伴走支援を行っています。



知財相談会の対応をする澤田宏二
支援担当＝境港商工会議所